

広島港港湾計画改訂 (概要版)



広島港開港70周年・築港130周年記念ロゴマーク



平成31年3月
広島県

■改訂の背景

広島港の港湾計画は平成11年に改訂していますが、計画の前提となった社会経済情勢、港湾物流の動向等に変化が生じていることから、将来に渡って、背後企業の産業活動を支え、地域経済の発展に貢献する港づくりを推進するため、この度、港湾計画を改訂することとしました。

港湾計画とは

港湾計画とは、一定の水域と陸域からなる港湾空間において、開発、利用及び保全を行うにあたっての指針となる基本的な計画で、港湾法に規定されている法定計画です。

広島港の港湾計画は、概ね10年先の2020年代末を目標年次とした貨物量や施設の規模、配置等を定めています。

主な検討経緯

2016年(平成28年)	7月29日	第1回	広島港長期構想検討委員会	開催
2017年(平成29年)	3月21日	第2回	〃	開催
2018年(平成30年)	4月27日	第3回	〃	開催
	8月27日	第4回	〃	開催

1 港湾計画改訂の方針

広島港の将来像

広島港の現況や、将来展望、要請等を踏まえ抽出した課題へ対応するため、3つの視点(物流・産業、人流・賑わい、安全・安心)から広島港の将来像を目指します。

- 物流・産業 地域産業の持続的発展やアジア諸国等との交易拡大を支援する国際物流拠点
- 人流・賑わい 瀬戸内と世界とをつなぐ国際交流拠点
- 安全・安心 防災性・安全性が高く環境と共生する港

また、広島港長期構想の理念として、

『瀬戸内海を牽引するグローバルゲート 広島港

～HIROSHIMAから世界へ・世界からHIROSHIMAへ～』を掲げます。



広島港の港湾計画の方針

広島港の将来像の実現に向け、物流・産業面、人流・賑わい面、安全・安心面のそれぞれにおいて、次の基本戦略のもと港湾計画の方針を定めました。

【物流・産業】地域産業の持続的発展やアジア諸国等との交易拡大を支援する国際物流拠点

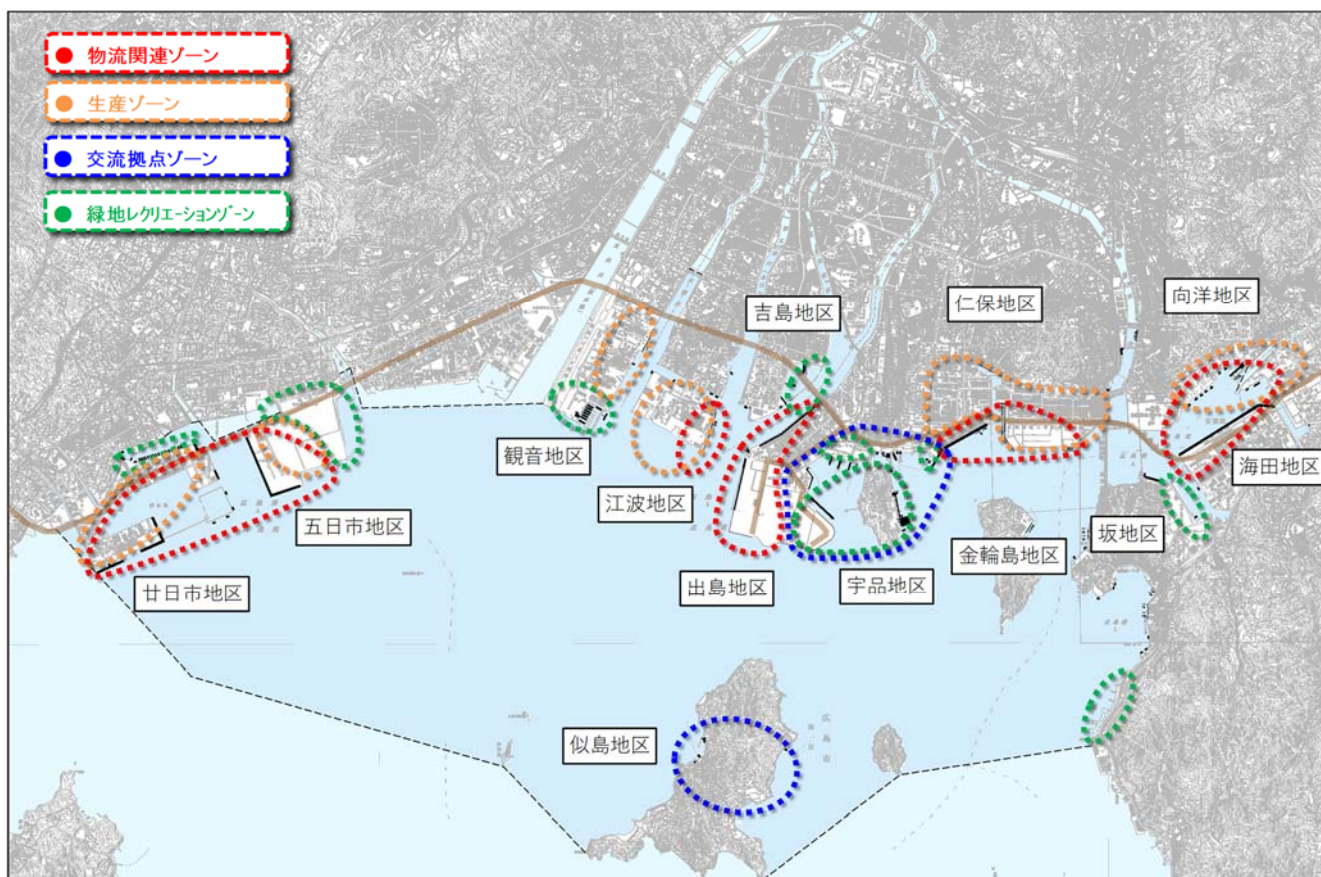
1. 荷主企業の生産性向上・物流効率化に資する国際競争力の高いコンテナ物流拠点を形成するため、「外貿コンテナ機能の強化」や「国際フィーダー機能の強化」、「コンテナターミナルの生産性・サービス水準の向上」、「交通ネットワークの強化」を図ります。
2. 地域産業の持続的発展や競争力強化に資する物流基盤の強化及び産業基盤を形成するため、「外内貿機能の強化」や「産業空間の拡充」を図ります。

【人流・賑わい】瀬戸内と世界とをつなぐ国際交流拠点

3. 外国人観光客の増大や、世界的なクルーズ需要の高まりに伴う広島港への寄港数の増加に対応するため、「クルーズ客船受入環境の拡充」を図ります。
4. 回遊性及びパブリックアクセス向上により「賑わい機能の増進」を図ります。

【安全・安心】防災性・安全性の高い港

5. 大規模地震対策施設を適切な位置に配置し、港の「防災・減災対策の推進」を図ります。
6. 放置艇対策を推進し、「船舶航行の安全性の向上」を図ります。



広島港の将来像実現に向けた空間利用計画（ゾーニング）

2 港湾計画改訂の主な内容

物流・産業①

戦略1 荷主企業の生産性向上・物流効率化に資する国際競争力の高いコンテナ物流拠点の形成

■ 外貿コンテナ機能の強化

- アジア経済圏の成長といった社会動向や、海田コンテナターミナルの物理的制約、出島地区の埋立沖合展開の可能性等を踏まえ、出島地区の広島港国際コンテナターミナル及び背後地において、「外貿コンテナ機能の強化」を図ります。

■ 国際フィーダー機能の強化

- 国際戦略港湾への接続強化や出島地区と海田地区のコンテナターミナルの適切な機能分担といった要請を踏まえて、「国際フィーダー機能の強化」を図ります。

■ コンテナターミナルの生産性・サービス水準の向上

- 情報通信技術の発達や労働人口の減少といった社会動向や、港湾運営会社によるコンテナターミナルの運営といった好機を捉えて、「コンテナターミナルの生産性・サービス水準の向上」を図ります。

■ 交通ネットワークの強化

- 臨海部の埠頭間や背後地との更なる接続性強化、港湾物流の迅速・円滑な幹線道路や高速交通網へのアクセスを実現するため、「交通ネットワークの強化」を図ります。

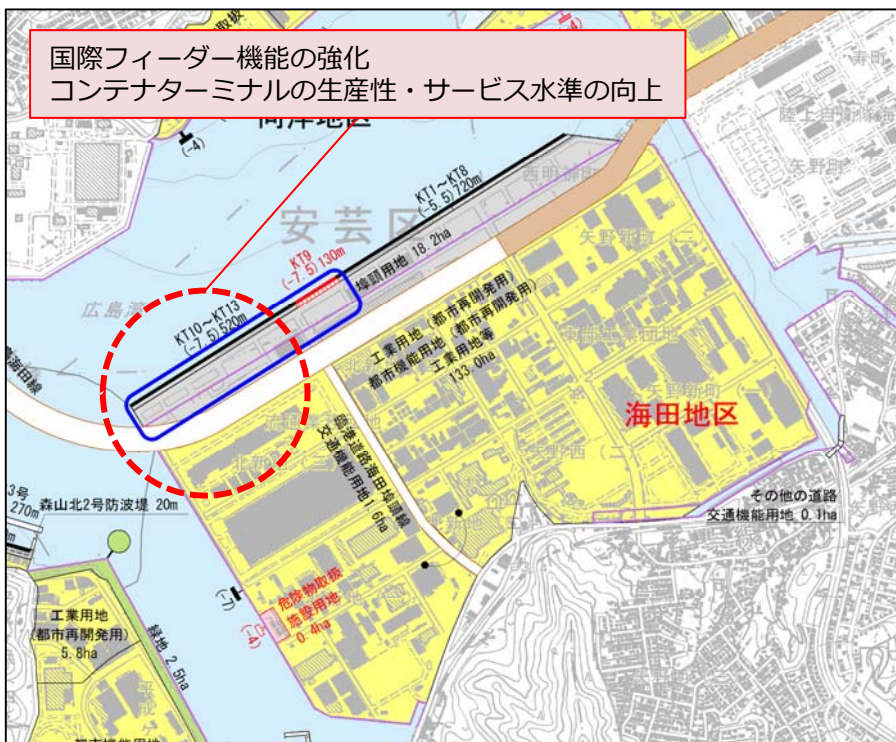


港湾計画図

■ 出島地区



■ 海田地区



コンテナ取扱個数



出典：平成29年港湾統計

戦略2 地域産業の持続的発展や競争力強化に資する物流基盤の強化及び産業基盤の形成

■ 外内貿機能の再編・強化

- 基幹産業である自動車産業の展望や、我が国のエネルギー需給構造の変革を見据えた環境配慮型エネルギー需要の増大、木材産業構造の転換といった社会動向・情勢を踏まえ、地域経済への貢献度が高い製造業等の競争力維持・強化を行うため、「外内貿機能の再編・強化」を図ります。

■ モーダルシフトの促進

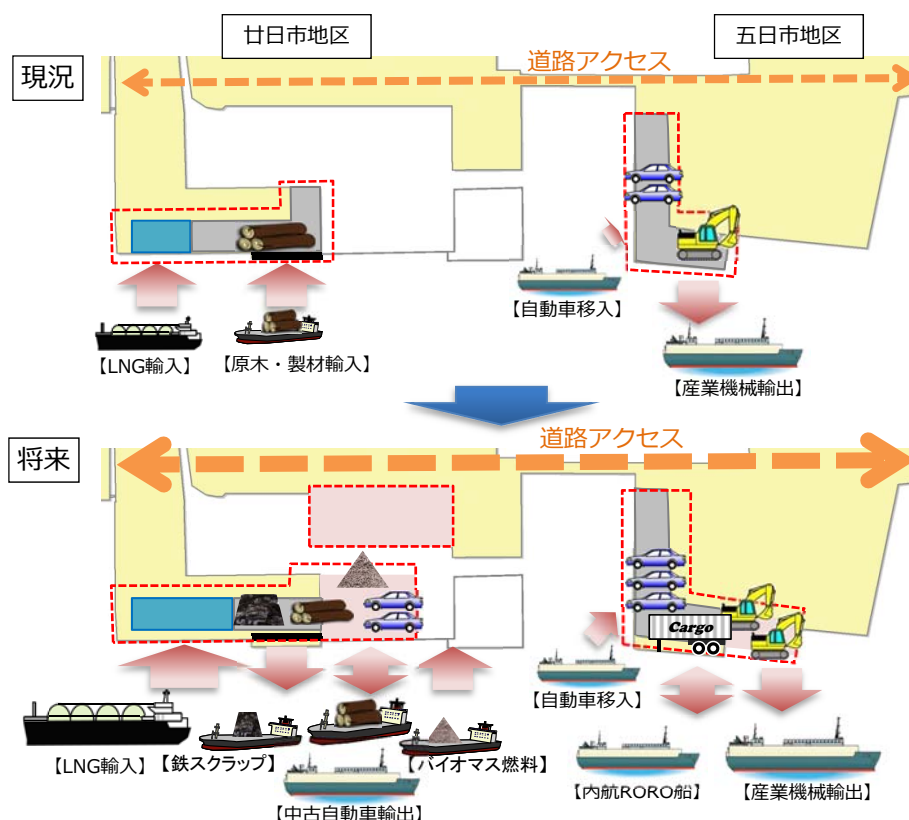
- 地球温暖化対策の取組の進展やトラックドライバー不足といった社会動向、広島港の内航RORO貨物の取扱量の減少や交通ネットワーク強化による臨海部のアクセス性の向上等の社会動向・情勢を踏まえ、内航RORO船や四国とのフェリーを活用した「モーダルシフトの促進」を図ります。

■ 新たな産業空間の確保

- 臨海部への土地需要の高まりや工場立地の国内回帰といった社会動向や、広島港背後に地域雇用を生む生産拠点（臨海部産業用地）が不足している現状を踏まえ、「新たな産業空間の確保」を図ります。

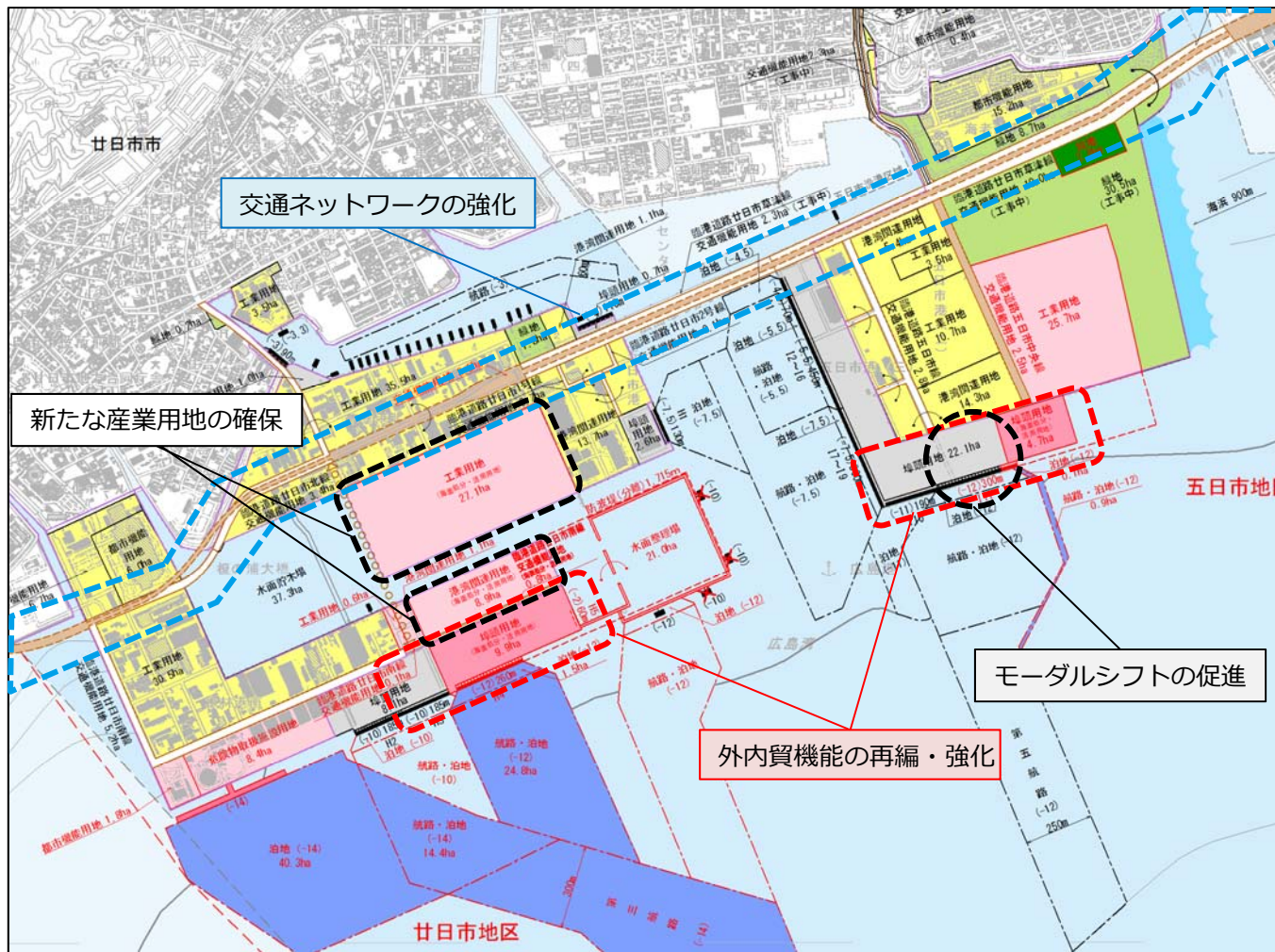
■ 交通ネットワークの強化（再掲）

- 臨海部の埠頭間や背後地との更なる接続性強化、港湾物流の迅速・円滑な幹線道路や高速交通網へのアクセスを実現するため、「交通ネットワークの強化」を図ります。



港湾計画図

■廿日市・五日市地区

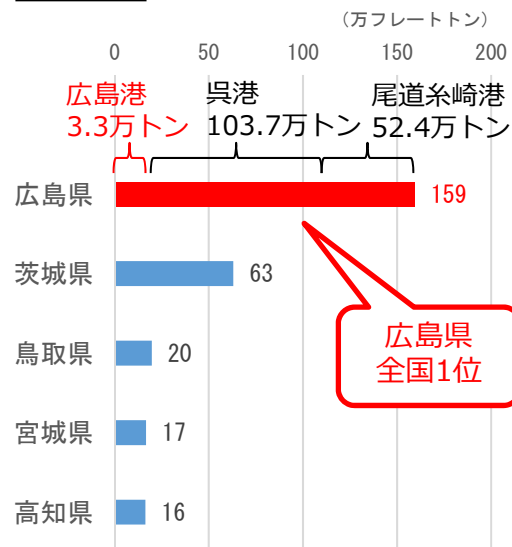


■江波地区



原木輸入量

2017年



出典：平成29年港湾統計

戦略3 瀬戸内地域交流や国際交流に資する交流ネットワークの形成

■海上交通網の維持・強化

- 広島港の島しょ部及び四国を結ぶ航路利用者数の微減傾向や、観光航路の増大、地域交通である生活航路の利用者数の減少といった社会動向・情勢を踏まえ、地域交流を推進するため、「海上交通網の維持・強化」を図ります。

※広島港の船舶乗降人員は、全国第8位（平成28年218万人）

■国際交流基盤の強化

- 訪日外国人観光客の増大や、世界的なクルーズ人口の増加、観光立国の実現を目指す国の成長戦略、広島港のクルーズ船受入れ環境充実の要請や大型クルーズ船に対応した施設不足、また、広島港臨海部が有するG7外相会合等の国際会議開催のポテンシャルを踏まえ、国際交流人口を拡充し地域を活性化するため、「国際交流基盤の強化」を図ります。



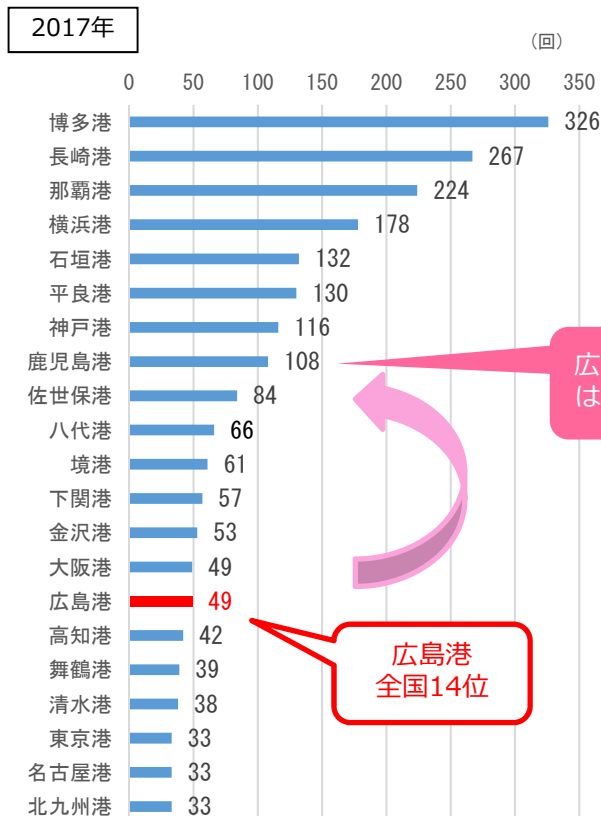
イメージパース
クイーン・エリザベスの場合

港湾計画図

■ 宇品・出島地区



クルーズ船寄港回数



広島港のクルーズ船寄港回数は約100隻/年を指します

広島港 全国14位

戦略4 憩い・賑わいの場となる親水空間・交流拠点の形成

■ 憩い賑わい空間の創出

- 県民の親水・憩い機能の要請や、余暇活動の多様なニーズ、港湾施設を活用した商業施設の立地の進展、海洋性レクリエーション拠点の取組の進展といった社会動向・情勢を踏まえ、更なる賑わいを創出するため、「憩い賑わい空間の創出」を図ります。

【既定計画】

旅客船利用とパブリックアクセスとの動線分離

高架道路による物流・人流の棲み分け、動線分離

憩い・親水・レクリエーション機能を有した緑地の確保

連続性に配慮したパブリックアクセスの強化

民間活力による賑わい空間を創出

元宇品の原生林・自然海岸

帆船寄港時のイベント

広島港の歴史資源

広島港に必要な取組

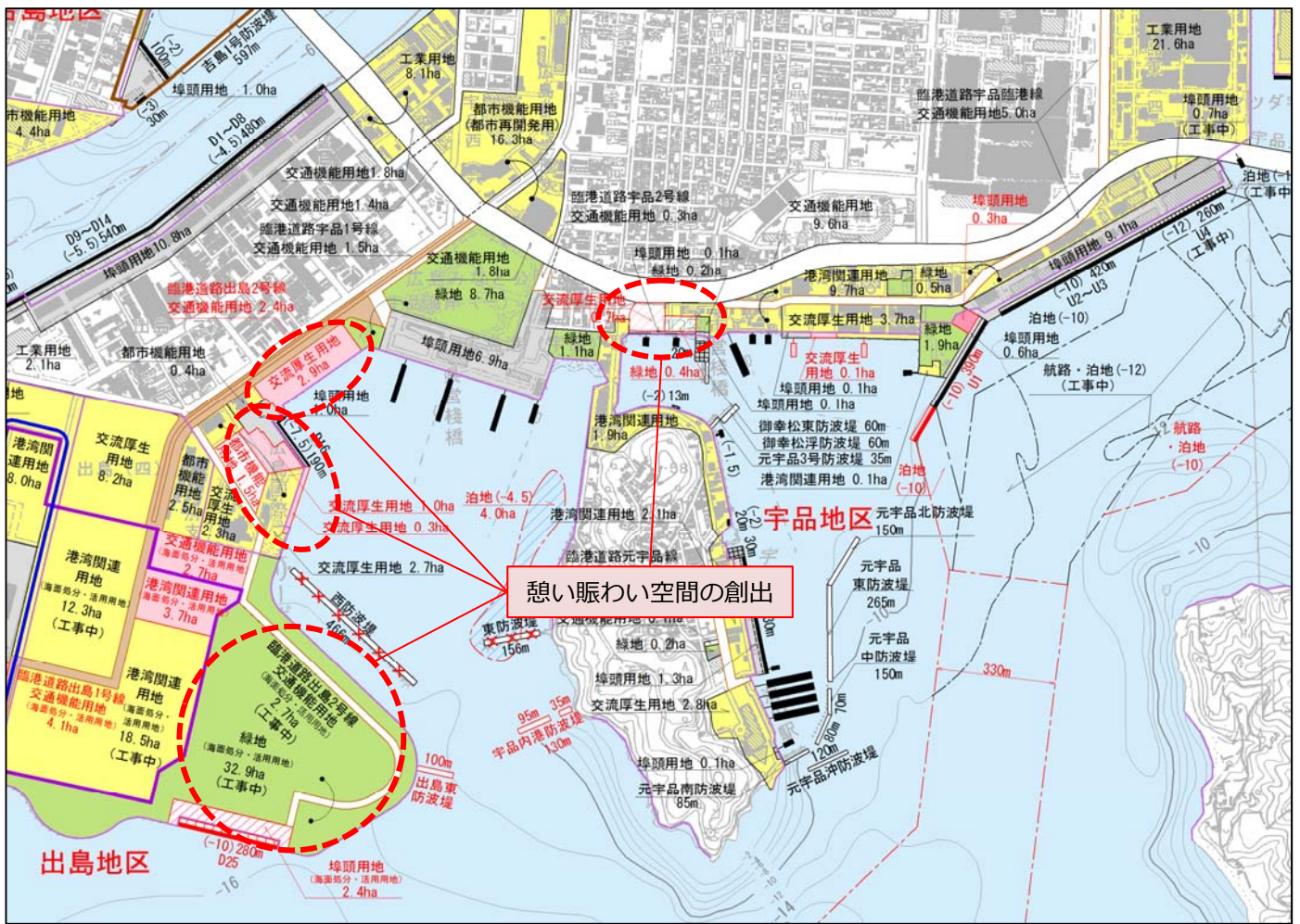
市民憩いの場の充実	44%
親水性の高い場所の充実	40%
交通アクセスの向上	36%
商業施設の立地促進	28%
みなとイベントの充実	25%
湾内・瀬戸内海クルーズの場の充実	17%
マリンスポーツの場の充実	13%
その他	3%

【広島港に対する県民意見アンケート調査（インターネット）（2016年）】

港湾施設を活用した商業施設の立地（宇品デポルトピア）

港湾計画図

■宇品・出島地区



戦略5 港の防災機能の向上及び既存ストックの有効活用

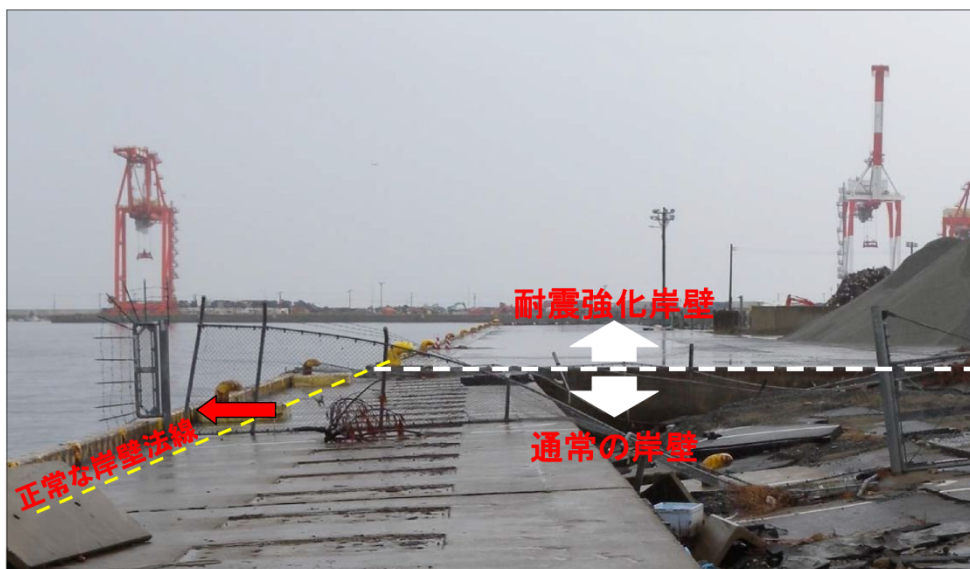
■ 防災・減災対策の推進

- 大規模地震の切迫性を踏まえ、広島港の防災機能を効果的に発揮するため、「防災・減災対策の推進」を図ります。

■ 施設の適正な維持管理

- 港湾施設の老朽化の進行や、財政制約等を踏まえ、戦略的な維持管理・更新を行うため、「施設の適正な維持管理」を図ります。

東日本大震災における仙台塩釜港の被害状況（耐震強化岸壁の役割）



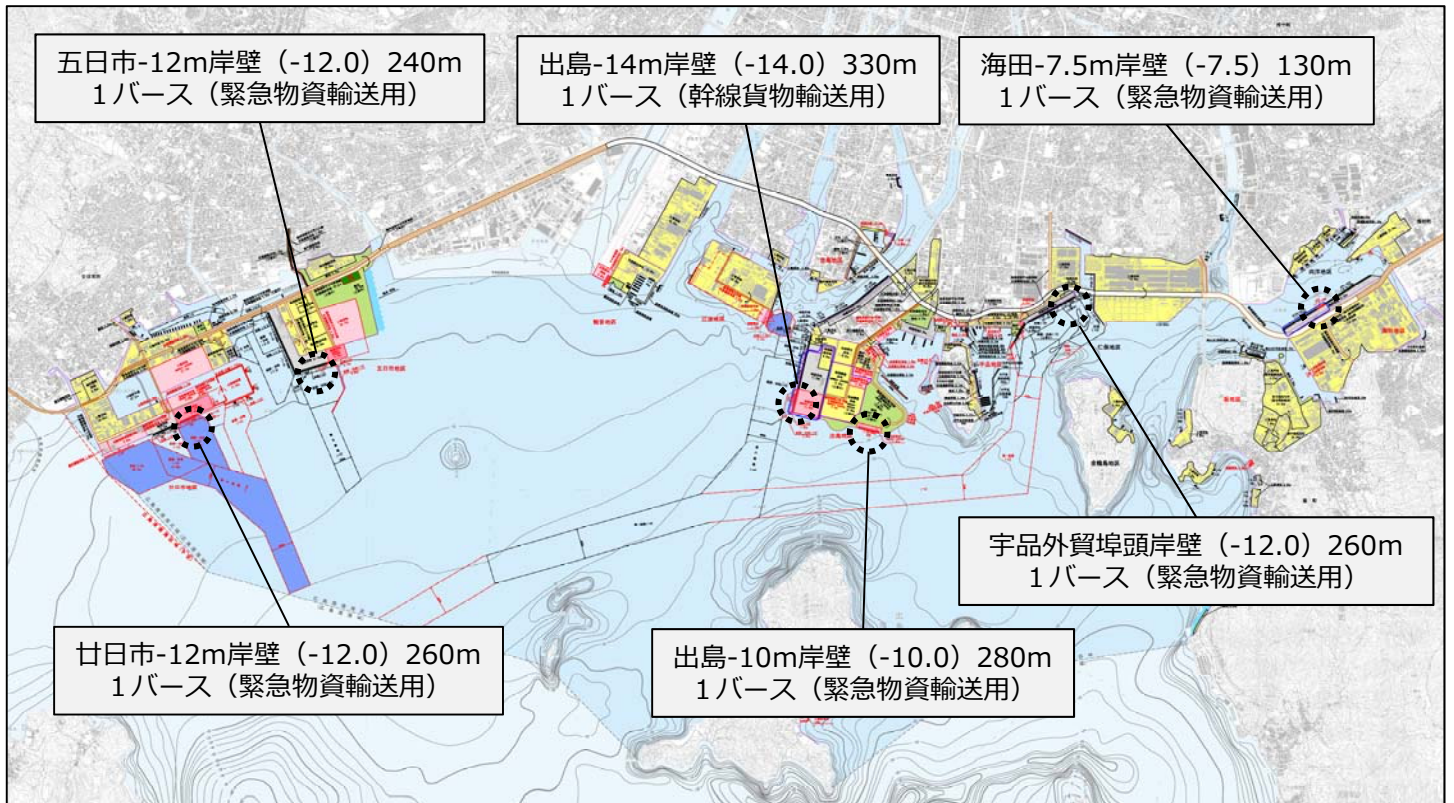
出典：東日本大震災による各港湾の被災状況 写真集（国土交通省）

廿日市地区水面施設の利用状況



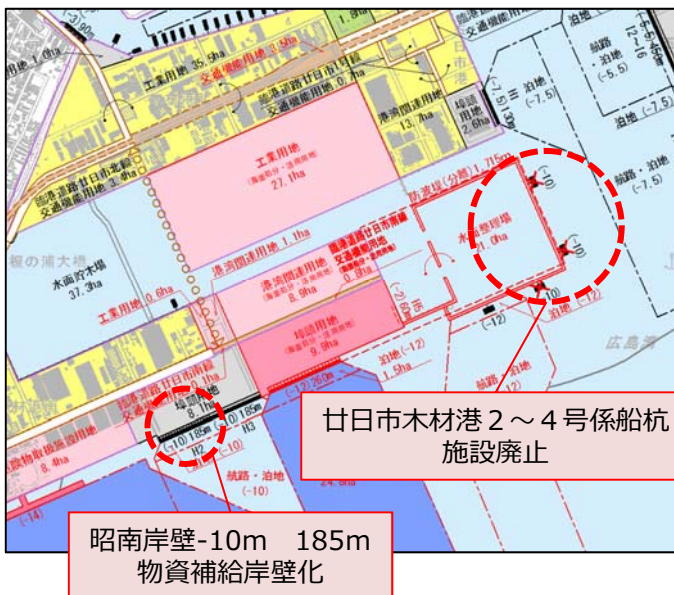
港湾計画図

■ 防災・減災対策の推進（耐震強化岸壁）

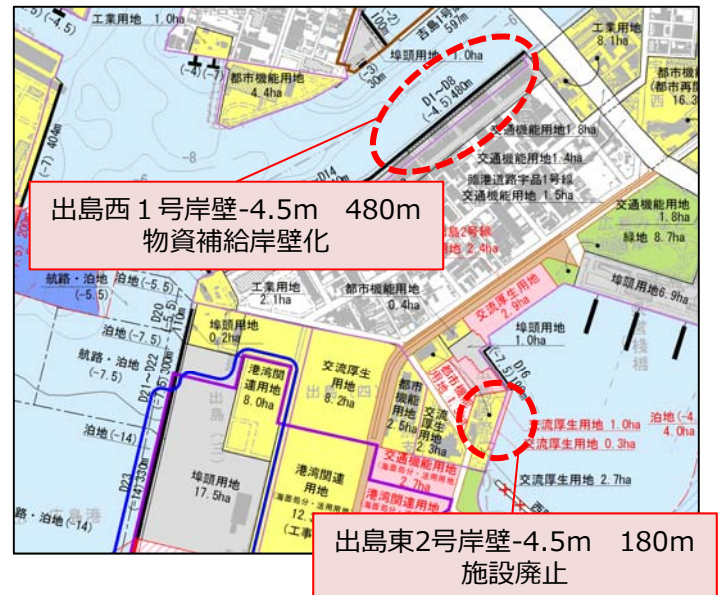


■ 施設の適正な維持管理（施設廃止，物資補給岸壁※化）

■ 廿日市地区



■ 出島地区



※物資補給岸壁：主に貨物船・作業船等の待機や給油・給水等に利用する岸壁

戦略6 港湾活動と調和した沿岸域の環境の確保

■ 廃棄物処理要請への対応

- 港湾活動や健全な産業・都市活動への貢献，また，災害時の発生土砂及び災害廃棄物の受入機能を確保するため，「廃棄物処理要請への対応」を図ります。なお，良質な土砂については，干潟造成などへの有効活用に取り組みます。

■ 環境との共生

- 瀬戸内海の総合的な環境保全や環境創造政策の推進といった社会動向，広島港の埋立て等により減少している自然海岸，港湾活動がもたらす生態系や漁業活動への影響に対応するため，「環境との共生」を図ります。

■ プレジャーボート収容の促進

- 快適で美しい都市空間の形成の要請といった社会情勢や，広島港の放置艇の存在といった現状を踏まえ，「プレジャーボート※収容の促進」を図ります。

※広島県はプレジャーボート隻数が全国1位（平成27年14,979隻）

■ 小型船だまりの確保

- 漁船だまりの整備や，ポートサービス船の係留機能強化の要請を踏まえ，「小型船だまりの確保」を図ります。

人工干潟（広島港五日市地区）



ポートパーク広島

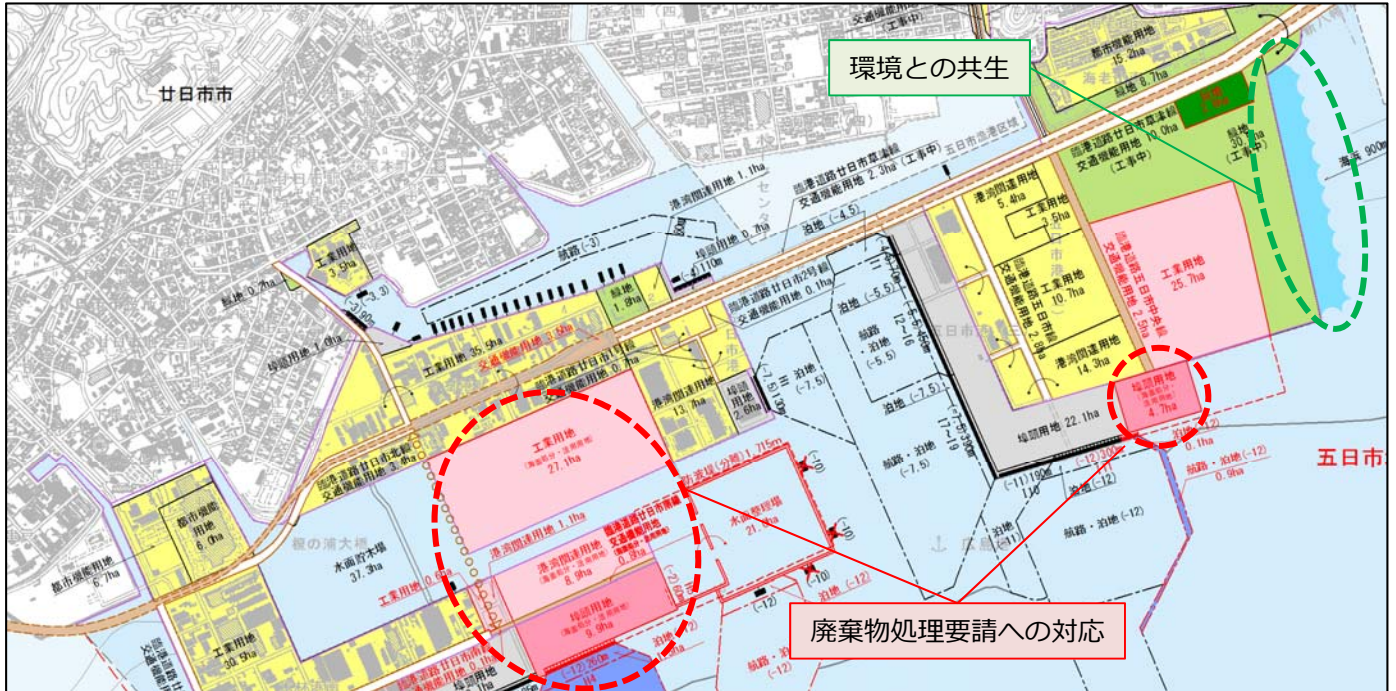


宇品地区漁船だまり



港湾計画図

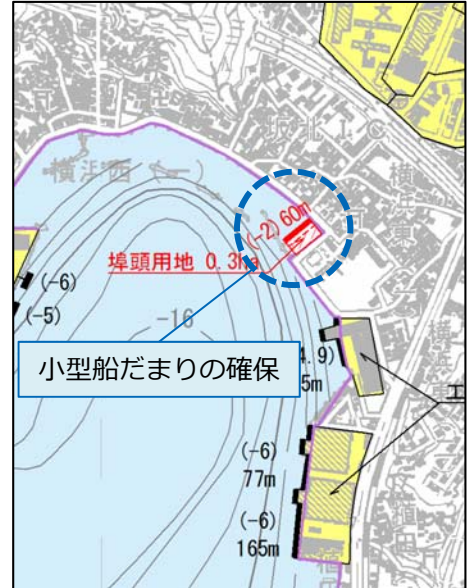
■ 廿日市・五日市地区



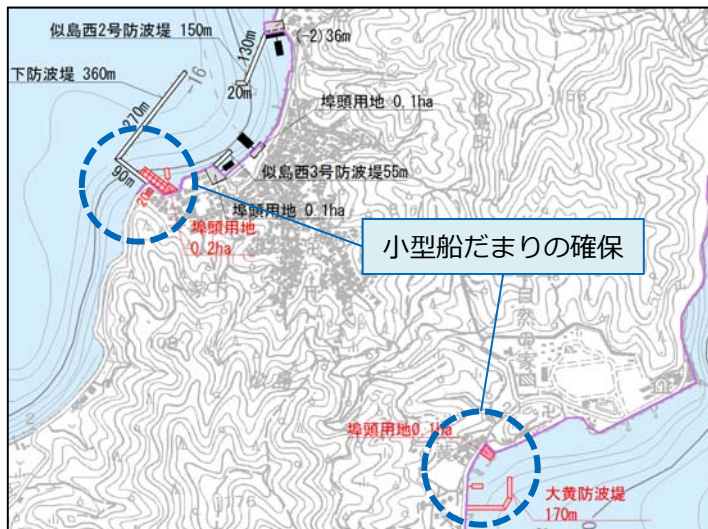
■ 宇品・出島地区



■ 坂地区



■ 似島地区



■ 吉島地区

